

平成24年度 第17回 教育研究評議会議事概要

日 時 平成25年2月15日（金）14：30～17：45
場 所 事務局特別会議室
出席者 別紙のとおり

議 題

1. ものづくり創造教育センター（仮称）の設置について （議題1の別紙）

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、技術センターを改組し、ものづくり創造教育センター（仮称）を設置する計画案について、資料に基づき説明があった。

教育学部長から、共用スペースの使用方法について質問があり、理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、以下の説明があった。

- ・センターの運用に関する詳細は、本件承認後に設置を予定している設置準備委員会で検討されることになる。
- ・現在施設を改修等する場合は、文部科学省から、学生向け共用スペースと競争的スペースの設置を求められており、競争的スペースとは、学内者も特別経費、プロジェクト経費等により経費を負担して利用することになるスペースである。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

2. 国立大学法人福岡教育大学規程の制定及び一部改正について （議題2の別紙）

- (1) 国立大学法人福岡教育大学運営規則（一部改正）
- (2) 福岡教育大学学則（一部改正）
- (3) 福岡教育大学国際交流・留学生支援推進本部規程（制定）

理事（国際交流・社会連携担当）から、「国際交流・留学生支援推進本部」を設置するため、「運営規則」及び「学則」を一部改正し、組織及び運営に関する必要な事項を定めるため、「国際交流・留学生支援推進本部規程」を制定することについて、資料に基づき説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

(4) 福岡教育大学学生表彰規程（一部改正）

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、学業成績優秀学生の表彰制度を新設するため、「学生表彰規程」を一部改正することについて、資料に基づき説明があった。

また、具体的な被表彰者、推薦方法については、重要通知で定めることとし、大学院においては、今回、教職実践専攻のみを被表彰対象とする予定であるが、教育科学専攻においても、修士論文、口頭試問を点数化する等によりコース間の比較、選考が可能となる方策を検討してほしい旨の発言があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

(5) 福岡教育大学紀要規程（一部改正）

副学長（学術情報担当）から、旧教育実践総合センターが発行していた教育実践研究に関する紀要を紀要委員会で編集・発行するため、「紀要規程」を一部改正することについて、資料に基づき説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

(6) 福岡教育大学ものづくり創造教育センター（仮称）の設置について（制定）

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、「ものづくり創造教育センター（仮称）」の設置準備に係る事項を検討する委員会を設置するため、「ものづくり創造教育センター（仮称）設置準備委員会規程」を制定することについて、資料に基づき説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

3. 「教育情報公表のガイドライン」の制定について （議題3の別紙）

理事（総務・財務担当）から、教育情報公表の際の基準として「教育情報公表のガイドライン」を制定することについて、資料に基づき説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

4. 平成25年4月1日付け教員人事について

(1) 採用適格候補者について （議題4(1)の別紙）

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、平成25年4月1日付け採用適格候補者1名について、資料に基づき説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

(2) 昇任適格候補者 （議題4(2)の別紙）

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、平成25年4月1日付け昇任適格候補者3名について、資料に基づき説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

(3) 平成25年4月1日付け大学院教育学研究科担当教員適格候補者について （議題4(3)の別紙）

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、平成25年4月1日付け大学院教育学研究科担当教員適格候補者3名について、資料に基づき説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

(4) 平成25年4月1日付け教職大学院実務家教員候補者について （議題4(4)の別紙）

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、平成25年4月1日付け教職大学院実務家教員候補者3名について、資料に基づき説明があった。

また、福岡県教育委員会との人事交流による候補者については、県の発表を持って確定する旨、説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

5. 大学院教育学研究科担当授業科目の変更等について （議題5の別紙）

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、教員8名の大学院教育学研究科担当授業科目の変更等を行うことについて、資料に基づき説明があった。

審議の結果、了承した。

6. 「ユネスコスクール支援大学間ネットワーク」への加盟について (議題6の別紙)

理事(国際交流・社会連携担当)から、「ユネスコスクール支援大学間ネットワーク」への加盟申請することについて、資料に基づき説明があった。

評議員から、ネットワーク加盟はよいことだが、更にユネスコスクールそのものに(本学や本学附属学校が)登録することは検討されていないのかとの質問があり、理事(国際交流・社会連携担当)から、可能性はあるが、現時点では、そこまでの議論が熟していない旨、説明があった。

学長から、ESD(持続発展教育)は世界的にも重要な概念であり、今後、教育の総合大学として、ユネスコスクール登録を検討してもよいと思う旨、発言があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

7. 「人材バンク」及び「パートナーシップ事業」の設置について (議題7の別紙)

理事(国際交流・社会連携担当)から、現行の「新・人材バンク」の問題点を改善し、新しい「人材バンク」として設置すること、本学の知的資源の提供を通じた新しい連携の形態として「パートナーシップ事業」を新設することについて、資料に基づき説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

8. 平成25年度福岡教育大学公開講座について (議題8の別紙)

理事(国際交流・社会連携担当)から、平成25年度実施予定の公開講座、開放授業及び高校生対象公開講座について、資料に基づき説明があった。

学長から、外部に公表する際は、受講条件欄等の記載表現を統一してほしい旨、発言があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

9. 学校教育3課程の教員志望及び就職状況の向上策について (議題9の別紙)

教育学部長から、教育学部長の下で検討した学校教育3課程の教員志望及び就職状況の向上策(第1次案)について、資料に基づき説明があった。

理事(企画・教育研究・附属学校担当)から、教員採用合格者の目標を150名から180名に変更したが、ミッションの再定義の中で提示された地元教員採用占有率5割を達成するには、それでも不足するとの分析結果もあるので、是非、200名合格達成を目指してほしい旨、意見があった。

評議員から、以下のような意見等があった。

- ・PDCAサイクルを実行するに当たっての具体策がない。
- ・原因分析が不十分である。また、各分析への具体的対策を明確にすべきではないか。
- ・原因分析に記載されていることと基本方針(案)及び具体的方策(案)の具体的記述の相関がわからないものがあるので、原因と対策の関係を明確にすべきではないか。
- ・教員採用志望者が減少しているのが気になる。合格者を増加させる前に、まず出願者を増加させる必要がある。
- ・基本方針(案)に学生を「支援する」とあるが、学生を「作りあげる」といったもっと能動

的な言葉が必要ではないか。

- ・具体的方策については、取り組む担当者・責任者を明確にすべき。
- ・平成26年度教員採用試験出願予定者以外の学生への働きかけをどのようにするか検討が必要である。選修によっては、学生の半数以上が教員を志望していないところがあり、アドミッションポリシーに反しているとも言える。
- ・合格率を上げるため、繰り返し模擬試験を受験させ、評価、指導を行うことが必要ではないか。
- ・3年生の後期以降、志望状況はあまり変動しない。つまり、1・2年次における指導が重要となるが、カリキュラム上キャリア形成に関する科目の検討が不十分と思われるので、是非検討してほしい。
- ・キャリア教育が不十分と考えるならば、原因として記載すべき。
- ・入学時から、教員志望者が少なかったのか、入学後志望者が減っているのか。
- ・入学時のアンケートでも、教員志望者は7～8割である。
- ・少なくとも入学時に教員を志望していた学生が、学力を理由に進路を変更しないように、1・2年次において授業時間を確保し、厳格な評価を行うことで、学ぶ意欲を持続する教育の仕組みを作るべきである。

審議の結果、継続審議とした。

10. 授業時間帯の見直しについて

(議題10の別紙)

理事(企画・教育研究・附属学校担当)から、授業の質保証の観点から、ハンディキャップを持つ学生を含め、学生が余裕を持って授業に臨めるようにするために授業間の休憩時間を10分から15分に見直すことについて、資料に基づき説明があった。

また、事務局から、車いす(補助者一人)での移動計測実験の結果、4月から使用予定の大学ホールから共通講義棟まで8分強、人文社会教棟まで9分強を費やしたことが報告された。

教育学部長から、以下のような意見等があった。

教育学部長と大学院研究科長は、現在の休憩時間が不足しているという認識と食堂の混雑状況から、昼休みを短縮しない、「例1」の案が適切と考えて教務委員会、大学院常任委員会へ提案した。教授会の議長として、教授会の了承を得られなかったにも関わらず、教育研究評議会で審議することは苦しいが、本学の教育の質保証のためには4月からの変更が必要と考える。

評議員から、以下のような意見等があった。

- ・合同教授会では、教務委員会で賛成、大学院常任委員会で反対となったにも関わらず、議題提出され、ねじれを解消せずに平成25年4月1日から変更するのは時期尚早であるとして否決された。まずは、両委員会の意見を一致させてから付議するのが筋であり、今回も、教授会が否決したにも関わらず教育研究評議会が了承するようなねじれは起こすべきではない。
- ・大学ホールは、どれだけ稼働予定なのか。視聴覚ホールの受け皿には、大1、大2、大3教室などがあるのではないか。
- ・視聴覚ホールの使用停止を前期中まで待てないか。
- ・学生アンケートについての分析・議論が十分ではない。
- ・もっと時間をかけて議論すべきと言われるが、教授会では、既に否決されており、もう一度議論することはありえない。一事不再議ではないのか。
- ・平成25年4月からの実施が否決されたのであり、議論を尽くした後であれば時間帯変更はあり得る。
- ・大学ホールを授業に使用するならば、10分では移動時間が不足するのは明確である。
- ・学生アンケートの反対意見は、「アルバイトに間に合わない」、「部活動に遅れる」、「帰宅時間が遅くなる」、「寮の夕食時間(炊婦の就業時間)に間に合わない」といったものであり、学業に直接関係する意見ではない。反対者の意見や割合だけで決めるべきではない。

- ・私たちの本務は、学生に適正な教育を保証することである。

学長及び理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、以下のような説明等があった。

- ・平成25年度の図書館改修に伴い視聴覚ホールが使用できなくなるので、その受け皿として大学ホールを建設してきた。大学ホールの建設は要らないという風評が学内で聞こえたことがあるが、それは間違っている。もし、大学ホールを建設しないまま、図書館改修を迎えていたら、大変なことになっていたことを知っていただきたい。大学ホールの建設場所も、地震対応や利便性、建設費等をよく考えて正門近くの運動場の一部に決めたものである。このため、学生及び教員の教室移動のことを考えると、授業時間帯の変更は、平成25年4月から行う必要がある。

- ・大1，大2，大3，特I，特IIなど既存の教室は既によく使用されており、それらだけでは、視聴覚ホールの用途は補えない。

- ・学生アンケートには反対意見もあるが、「トイレ休憩がとれない」、「移動時間が不足することがある」、「気持ちに余裕が持てない」として、休憩時間延長に賛成する意見があることは看過できない。

- ・部活動については、各部が練習時間を調整し、寮の夕食時間については、炊婦の雇用時間を変更する等で対応できるのではないか。

- ・10分間の休憩時間で、とうてい移動できない修学環境を放置すれば、学生から訴えられることもありうる。大学として、そうした事態は避けるべきだと考える。

事務局長から、図書館改修事業は、予算的に平成25年度中に完了する必要がある、今から「前期授業終了後に着工」といった工期を縛る計画を立てるのは危険であるとの意見があった。

審議の結果、別紙【参考】例1の案を了承し、役員会へ付議することとした。

1.1. 「学生ボランティア活動」及び「学生インターンシップ」に係る全学委員会の新設について

学長から、「学生ボランティア活動」及び「学生インターンシップ」を組織的に支援するため、各々の全学委員会を新設する意向であることについて、資料に基づき説明があった。

また、理事（企画・教育研究・附属学校担当）から、「学生ボランティア活動」及び「学生インターンシップ」に関しては、科目履修、学外でのトラブル対応等、教員が関わるべき事項も多く、対応する委員会が必要と考えられること、規程等整備については、教授会等の意見を聴きながら実施予定である旨、説明があった。

審議の結果、提案の方向で検討を進めることが確認された。

報告事項

1. 平成24年度教職大学院等認証評価結果案について (報告事項1の資料)

理事（総務・財務担当）から、一般財団法人教員養成評価機構から送付された「平成24年度教職大学院等認証評価結果案」の内容と対応について、資料に基づき報告があった。

2. 教育総合研究所附属特別支援教育センター長の選任について

副学長（教育組織・カリキュラム改革担当）（教育総合研究所所長）から、中村 貴志教育総合研究所附属特別支援教育センター長の任期が平成25年3月31日に満了することに伴い、福岡教育大学教育総合研究所運営規程第12条に基づき、次期センター長候補者として太田 富雄教授を選考したことについて、報告があった。

評議員から、附属特別支援教育センターに関し、以下のような意見等があった。

- ・特別支援教育センターは、将来的に解消されるのではなかったか。
- ・特別支援教育センターの相談業務は、専任教員がいなくても運営できるのか。
- ・特別支援教育は、本学が評価されているポイントであるので、機能が低下しないようにしてほしい。
- ・今までも特別支援教育講座と特別支援教育センターで一体として運営してきたので、今後とも話し合いながら業務を行う。

学長，理事（企画・教育研究・附属学校担当）及び副学長（教育組織・カリキュラム改革担当）から，以下のような説明があった。

- ・特別支援教育センター所属の教員を今後1年程度で講座に移籍をしてもらう予定ではあるが，センター自体を無くすような予定はない。
- ・教員の講座移籍は，講座と特別支援教育センターをより一体的に運営させることが目的である。
- ・特別支援教育センターには教育担当教員を置くことになっており，その兼任教員が相談業務に当たることになる。
- ・本学は，特別支援教育に関する拠点校であると認識しており，特別支援教育に関する評価が下がるようなことがないように，関係者と相談しながら運営を進めたい。

3. 後援会からの要望書について (報告事項3の資料)

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から，本学の正規教員合格率の向上のため，学生への教員採用試験問題の配付，採用試験時期の学業の負担軽減等，具体的対策の検討を求める要望書が，福岡教育大学後援会から提出されていることについて，資料に基づき報告があった。

学長から，各要望事項への対応は，今後検討・審議していく予定である旨，発言があった。

4. 教務システムを中心とした各学務系システムの連携状況について (報告事項4の資料)

理事（企画・教育研究・附属学校担当）から，VSS, CSSといったシステムが十分機能していないという意見があることから，現在の教務システムを中心とした学務系システムの現有状況及び相互連携状況について，資料に基づき報告があった。

また，これまで価格を重視してシステムを導入し，安価になった分を本学職員の労力でカバーして運用していたが，今後は，システム全体の相互連携を重視した更新をしていく必要がある旨，説明があった。

学長から，教職員の理解を図るため，必要であれば本資料を全教職員に配布する旨，発言があった。

5. 次回の開催日程について

次回の会議を，平成25年3月15日（金）14：30～，事務局特別会議室で開催することとした。

説明資料等

- 議題1の別紙
 - ・技術センター改組計画（学長案）ものづくり創造教育センター（仮称）
 - ・ものづくり創造教育センター（仮称）の改組計画について（答申）
- 議題2（1）の別紙
 - ・国立大学法人福岡教育大学運営規則新旧対照表
- 議題2（2）の別紙
 - ・福岡教育大学学則新旧対照表
- 議題2（3）の別紙
 - ・福岡教育大学国際交流・留学生支援推進本部規程（案）
- 議題2（3）の資料
 - ・「国際交流・留学生支援推進本部」の設置について
- 議題2（4）の別紙
 - ・福岡教育大学学生表彰規程新旧対照表
- 議題2（4）の資料
 - ・福岡教育大学学生表彰実施について（重要通知）（案）
- 議題2（5）の別紙
 - ・福岡教育大学紀要規程新旧対照表
- 議題2（6）の別紙
 - ・福岡教育大学ものづくり創造センター（仮称）設置準備委員会規程（案）
- 議題3の別紙
 - ・教育情報公表のガイドライン（案）
- 議題4（1）の別紙
 - ・平成25年4月1日付け採用適格候補者について
- 議題4（2）の別紙
 - ・平成25年4月1日付け昇任適格候補者について
- 議題4（3）の別紙
 - ・平成25年4月1日付け大学院教育学研究科担当教員適格候補者について
- 議題4（4）の別紙
 - ・平成25年4月1日付け教職大学院実務家教員候補者について
- 議題5の別紙
 - ・大学院教育学研究科担当授業科目の変更等について
- 議題6の別紙
 - ・「ユネスコスクール支援大学間ネットワーク」への加盟について（具申）
- 議題7の別紙
 - ・「人材バンク」及び「パートナーシップ事業」の設置について（学長案）
- 議題8の別紙
 - ・平成25年度福岡教育大学公開講座実施計画一覧
 - ・平成25年度開放授業科目一覧
 - ・平成25年度高校生対象公開講座科目一覧
- 議題9の別紙
 - ・学校教育3課程の教員志望者及び教員就職者の向上策（第1次案）
- 議題9の別紙2
 - ・キャリア支援センター「就職向上推進会議」（仮称）の改称について
- 議題9の別紙3
 - ・教育学部3年生ならびに教職大学院1年生の教員志望調査（報告）
- 議題9の別紙4
 - ・各講座の現3・4年生を対象とした教員採用試験・就職対策状況
- 議題10の別紙
 - ・各授業間の休憩時間の見直しについて（依頼）
- 議題11の別紙
 - ・「学生ボランティア活動」及び「学生インターンシップ」に係る全学委員会の新設について
- 報告事項1の資料
 - ・平成24年度教職大学院等認証評価結果案について
- 報告事項3の資料
 - ・正規教員合格率の向上に関する要望書
- 報告事項4の資料
 - ・教務システムを中心とした各学務系システムの連携状況